

令和2年7月豪雨災害 支援活動報告と募金のお願い

「令和2年7月豪雨」で被災された皆さま並びにご家族の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。グリーンコープでは各県のグリーンコープ生協を通じて支援活動に取り組んでいます。引き続き被災地の支援活動に取り組んで参りますのでご協力よろしくお願いします。

また、今回は、9月3日（木）に九州北部へ接近した「台風9号」と9月7日（月）に九州全域に大きな影響を与えた「台風10号」によって産直生産者がハウスなどの施設や畑、作物に被害を受けた様子をお知らせし、復旧に向けた支援について、この救援金（令和2年7月豪雨災害支援募金）を活用させていただくこととカンパへのご協力をお願いします。

各県の被災地支援の取り組みについて

大分県

天ヶ瀬を中心に支援活動を行っているNPO法人に、支援の食材をお届けしました。災害当時は地域の皆様に炊き出しを行っていましたが、現在は災害直後の混乱は落ち着き、片づけを行いながらも日々の生活を取り戻している中で、惣菜の移動販売に切り替えて進められています（価格は支援の意味を込めて格安とされています）。また、日田市内のみなし住宅にお住まいの方からの困りごととして、被害を受けた住宅からの家財の運び出しや、みなし住宅から新たな住まいへの引越しの支援などを相談しています。



熊本県（人吉のペット預かり支援）

人吉市で被災者のペットの預かり活動をされていた方が、2ヶ月に及ぶ活動を終了されるとの連絡をいただき先日訪問しました。グリーンコープの組合員でびん牛乳が大好きなファミリーです。これまでの活動たいへんお疲れ様でした。避難所にはペットの持ち込みが出来ない事を知り、災害翌日から避難所を訪ね、取り残されたペット7匹をお預かりされています。保護した時は泥だらけの犬や猫をシャンプー、カットして保護を始められ、仕事前に3匹の犬の散歩をご家族の協力を得ながら続けられるなど、これまでの活動にご苦労もあったそうです。当初、ペットたちを保護するスペースに活用した建設事務所の環境を良くするため、自費でエアコン付きのコンテナを準備したものの、中型犬や小型犬、猫などを保護するには手狭になり、資材置き場に中型犬を保護する簡易施設を考えられました。ネットやゲージを購入できずにいたところ、災害支援で知り合った方よりグリーンコープに相談があり、ゲージ5台、ドックラン用の人工芝を提供することが出来ました。



（人吉球磨地区）

人吉球磨地区の岡本副委員長宅でかき氷会を開催しました。GCおやかまの組合員の皆さんがカンパを募られて被災地支援として作られた「白桃ジャム」をかき氷にのせて美味しくいただいて「みんな元気になろう！」という取り組みです。総勢40名程でかき氷を作って食べました。みんな「おいしい」と、おかわりする子も続出、「次はいつするの〜？」と大いに盛り上がりました。ありがとうございました！！



前回に続き大型台風9号と10号の産直青果生産者被害について

野菜や果物の栽培には、ハウスなどの施設の再建が必要です。作物の被害は、生産者の皆さんの収入に直接影響する（収入が減る）ことにつながります。産直生産者の皆さんが今後も農業を続けて行けるように、同時に、組合員の皆さんが、これからも安心・安全な産直青果物を利用できるように、組合員の皆さんの温かいご支援とご協力、宜しくお願いいたします。。

◆出荷中のミニパプリカがほとんど落果。



阿蘇小国郷（熊本県小国町）穴井さん。出荷中のミニパプリカが、たくさん落果してしまいました。強風で根も傷み、今後の回復は難しそうです。本来最盛期の10月の出荷は見込めなくなっていました。

◆角オクラも丸オクラも被害に遭っています。



佐伊津有機農法研究会（熊本県天草市）左は台風9号の高潮で枯れ、台風10号で葉が飛んだ角オクラ畑。右は台風10号で葉が飛び倒れた丸オクラ畑。どちらも回復は見込めません。

◆葉が飛び茎が倒れたれんこん畑。



やまびこ会（熊本県松橋町）れんこんは、強風で葉が飛び、茎が倒れてしまい茶色に変色しています。収穫量が1～2割減の見込みです。写真は代表の中塘（なかども）さん。

◆これから出荷予定の梨がたくさん落ちました。



福岡県の産直梨産地（小石原経済梨部会・日野農園・秀幸農園・平田果樹園）と大分県のアーム農園では、これから出荷予定の新高・にっこり・王秋等の品種が1～2割も落ちてしまいました。写真は平田果樹園の平田さんの落果した梨です。

令和2年7月豪雨災害支援募金

申込番号	012	1口200円
	013	1口500円
●OCR申込書の通常申込欄へ口数を記入してください。2桁の数量を申し込む場合、特別申込欄に、申込番号「013」、数量欄に「10」と申し込まれると500円×10口＝5000円として受付けます。		
●組合員のみなさまからの救援金(カンパ)は、グリーンコープが責任を持って取りまとめ、各支援団体とともに被災地域の救援活動や取引先の復旧支援などに役立てます。		

グリーンコープの災害支援活動の案内ページが新しくなり、「令和2年7月豪雨」のページを設けています。インスタグラムのリンクもあります。



令和2年7月豪雨災害の支援募金の受付状況（7月6日～10週間累計）は、先週26号で270万円を受け付け、累計で78,706,400円となりました。この募金は被災地の支援活動をはじめ、7月の豪雨やこのたびの台風で被害を受けた生産者やメーカーへの復旧支援などに大切にさせていただきます。皆様のご厚意に深く感謝申し上げます。ありがとうございます。